

学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査
FAデータ資料

2025年11月14日

1. 手法(図の見方)

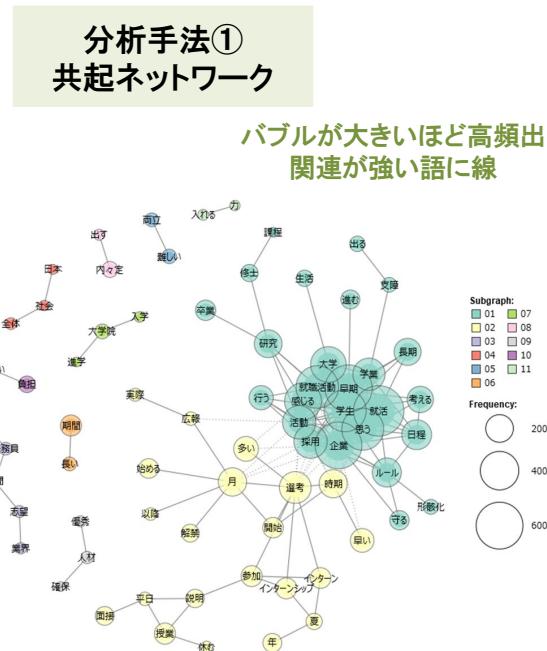
自由記述分析(テキストマイニング)

自由記述のデータを定量的に分析し、特徴・意見の傾向を把握することを目的とする。

今回は、KH Coderを用いて分析。

分析手法① 共起ネットワーク

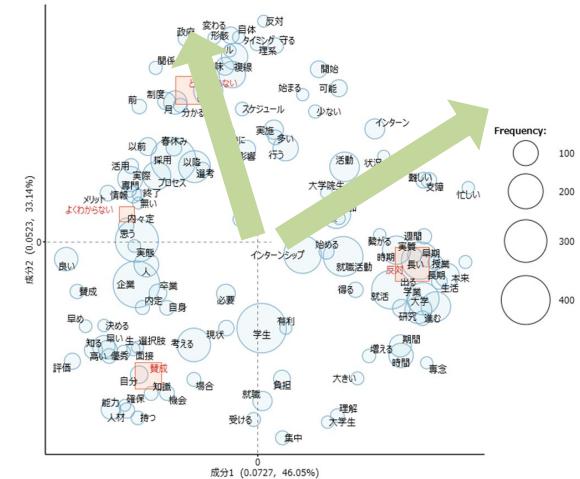
バブルが大きいほど高頻出
関連が強い語に線



出現頻度の高い語はバブルが大きく表示され、かつ、語と語の関係性がネットワークで表現される（関連があるほど濃い線で結ばれる）。出現頻度の高い表現の把握や文全体の趣旨の理解などに応用できる。

分析手法② 比較分析

原点から遠い語ほど特徴的



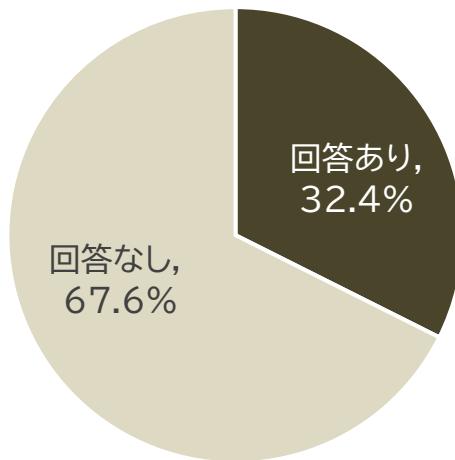
評価・属性別などに、特徴的な語を可視化。商品ごとの特徴などが把握できる。（比較する語に近いほど関連があるコレスポンデンス分析とは異なり、原点から遠く位置する語ほど特徴的である）。青いバブルの大きさは語の出現割合、赤い四角の大きさは、評価・属性の出現割合。

2. 就活日程の在り方全般についての意見(Q84) ①自由記述の全体像

Q84. 就活日程の在り方全般について、あなたの意見があれば教えてください。 (自由記述／任意回答)

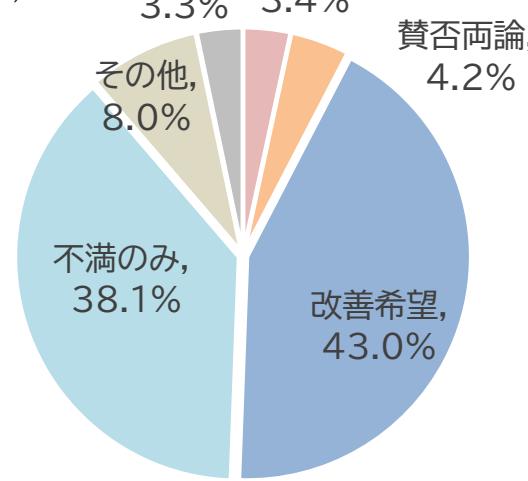
自由記述回答率

n=3,198



コメント内訳

n=1,036



※円グラフは、自由回答で得たデータを下記のルールに従って分類を行った分布である。

許容・賛成	就活日程の在り方について許容・賛成・高評価
賛否両論	部分的に賛成(許容)かつ部分的に不満 (例:早期化は賛成、長期化は反対)
改善希望	就活日程の在り方について、 具体的な要望や改善策について言及
不満のみ	就活日程の在り方に不満についてのみ言及 (具体的な要望や改善策については記述なし)
その他	例:「学生は〇〇すべきだ」「早期化していると感じる」等中性的な内容 「早期化はオフハラを誘発する」等、因果関係や一般的な視点で述べられたもの
なし	「意見は特がない」とした人

2. 就活日程の在り方全般についての意見(Q84) ②抜粋コメント

Q84. 就活日程の在り方全般について、あなたの意見があれば教えてください。 (自由記述／任意回答)

学年	文理	国公私	大学	男女	コメント
大学4年生	文系	私立	久留米大学	男性	多くの企業が、日程時間がある程度示して受ける側に配慮してくれて非常に有難く感じ、特に面接は自分の時間に合う日時にさせてくれたので良かった。
大学4年生	文系	私立	堀山女子学園大学	女性	大学生の夏季休暇などの時期を狙い、インターンシップを開催していただいた企業が多く、夏の間に企業研究ができたと実感している。
大学4年生	文系	私立	実践女子大学	女性	日程に融通が利いていいと思う
大学4年生	文系	私立	法政大学	男性	候補日が複数日程設けられているのは非常にありがたかったため、継続していくべきだと考える
大学4年生	文系	国立	東京大学	男性	3月就活解禁という建前があるため、それ以前にその建前を守らない企業の選考がひと段落し、3月に本選考を行う企業の準備に本腰を入れられたと感じている。3月就活解禁というルールは、選考時期を分散させる意味で個人的には非常に助かるものであった。
大学4年生	文系	私立	明治大学	女性	法律として(新卒)の採用選考開始時期が決まつていれば、就活生全員が足並み揃えて活動できるので不安感や焦燥感は少なくなると感じることはある。しかし、現実的に考えれば競争が激化したり、就活生の自由度が下がり学業や研究活動に支障が出ることも考えられる。自分の好きなタイミングで就職活動を行える現在の状況は、これから社会人になる者として自身を律する練習になり良いのではないかと思う。
大学4年生	文系	私立	東北学院大学	男性	全面的に就活のスケジュールは早期化、長期化が見られ、早い段階から就活に意識を持ち始めた学生は様々な企業を目の当たりにすることができ、遅れた学生でもまだチャンスがあるといった具合で、スケジュール自体はとてもいいと感じている。
大学4年生	文系	私立	同志社大学	女性	制度を決めたところでどの時代のどの企業も水面下で色々やると思うし、学生もその方がSNSで自分から情報を集めるなど、緊張感を持って、存外やりやすかったりするなあと感じます。
大学4年生	文系	私立	同志社大学	女性	特に理系学生で、学士で卒業する生徒にとっては研究期間が1年間しかないため4年生になる前に就職活動が終わるのが最も良いと思います。4年生からスタートするようなスケジュールでは卒業論文に向けての研究がほとんどできません。
大学4年生	文系	私立	同志社大学	女性	様々な時間帯で選べたことは良かったので、今後も継続してほしいと思います。
大学4年生	文系	私立	慶應義塾大学	男性	企業の働き方改革の実現と学生にとって都合の良い説明会等の日程を両立させることは学生の長期休暇を除いて不可能であると考えるため、今以上に改善することできないと諦めている。
大学4年生	文系	国立	愛媛大学	女性	早い者勝ちすぎる。でもそれでいいと思う。そんなことを言えば資格だって取った者勝ちだし、留学も旅行も行ったもの勝ちだから。就活の早期化が問題視されているが、3年生までに真面目に授業を受けていれば、4年生の前期で就活を終えて夏から卒論に取り掛かることは可能である。私が文系学生だからそう思うのかもしれないが、また、私は苦学生があるので、奨学金を貰いながらアルバイトをしながら就活をする、というのは確かに大変だった。
大学4年生	理系	私立	法政大学	男性	学業と就活を両立できるような日程であれば、いいと思う。
大学院2年生	文系	国立	東京科学大学	男性	本来よりも早く内々定を獲得できたことで研究に集中することができた。
大学院2年生	文系	私立	早稲田大学	男性	現在は優秀な学生の取り合いが行われていると思うので、自分も政府から決められた日程より早く就活をし、企業もルールより早くから採用活動をしていて、それで良いと思う。
大学院2年生	理系	国立	東京科学大学	男性	最近は説明会に参加できなくても企業が説明会の動画をアーカイブで残してくれていることがかなりあるので、その企業に興味を持ち始めるのが遅くても、満足に就職活動をすることができた。採用日程については、今がちょうど良いと思う。特に理系院生は大学によって中間発表のタイミングが違うので、企業側が採用期間にゆとりを持ってくれていることがありがたかった。
大学院2年生	理系	国立	名古屋大学	男性	早期選考と言って多くの会社が早めに始めているが、国のルールとして遅いだけであると思うので、この期間を早くしたからと言って最終学年の一つ前の年よりも前に就活を始めないといけないと言うようなことはないし、早めて良いのではないかと考えています。
大学院2年生	理系	私立	早稲田大学	男性	特になし。但し、就職活動の早期化によって、大学院進学決定以前に内々定が出ることが多く、理系の大学院進学率の低下が如実に現れている。現状は水際対策を行なっているが、これ以上の早期化(例えば、大学2年での内々定が恒常化)すれば、大学院進学率はより大きく落ちるだろう。これは由々しき事態であると考えるため、現状維持を強く望む。
大学院2年生	理系	国立	東京科学大学	男性	とくの昔に形骸化ルールではあるが、これはこれで存在している意味はあると思う。よって、現行のまま大筋は変更なく、維持し続ければよいと思う。

2. 就活日程の在り方全般についての意見(Q84) ②抜粋コメント

Q84. 就活日程の在り方全般について、あなたの意見があれば教えてください。 (自由記述／任意回答)

学年	文理	国公私	大学	男女	コメント
大学4年生	文系	私立	帝京大学	男性	早期化という風潮が強いと感じられ、早くから就職先を決めてしまい、後になって後悔する人や、周りの就活状況から不安になってしまう人がいたりなど、自分を見つめ直す上で早期化は良いと考えられる反面、上記のような人たちを生んでしまうという欠点もあるように感じる。
大学4年生	文系	私立	帝京大学	男性	3年生の夏から合同説明会に行き、1dayインターンシップに行くことでたくさんの業界を見聞きすることが出来てよかった。しかし、早期選考も多く、内々定が早ければいいといった空気があることも否定できず、入社する気がない企業なのに、採用面接を受ける節操のない同期も多かったです。就活の長期化が進んでいると感じる。
大学4年生	文系	私立	明治大学	女性	早期化することに対しては、面接で話せるエピソードが減るが、大学4年で卒業論文に時間を確保できたり、大学生活を楽しんだりすることが可能なので、良かったなと思う。ただ、長期化しそうなことに対しては、精神的にも大変なので、できるだけ避けた方がいいと思う。インターンシップに参加することで採用試験に備えられることもあるので、約半年は就職活動にかけることが必要だとも思う。
大学4年生	文系	私立	慶應義塾大学	男性	日程ルールをどの企業も守らず、長期化早期化が進んでしまっていると思います。長期化は、自分のキャリアについて熟考する機会になりました。一方で、早期化はゼミ研究に支障が出たり、留学に行くかどうか決める時期が早まり行かないという決断をしがちになつたりする影響が出ました。官僚志望の学生が減っているのは、労働環境や待遇の問題もありますが、選考時期が民間企業に比べてとても遅くなっていることも影響していると思います。学生が就活前に学業や課外活動に割く時間を増やすためにも、日本を支える官僚の人気を取り戻すためにも、早期化は止める必要があると思います。申し訳ありません。そのための案は思いつきません。
大学4年生	文系	国立	東北大学	男性	早期化することは人手不足の世の中を解決するために有効かとは思いますが、早すぎるとも良くないかと存じます。
大学4年生	文系	私立	東洋大学	男性	6月の就職活動解禁前に多くの企業が面接を行なっているが、現在行われている日程でも問題ないと感じる。ただ、最初の選考から最後の選考までの期間が長い企業があるので、その部分はできる限り短縮してほしいと感じる。
大学4年生	文系	私立	福岡大学	女性	就活が早期化していると強く実感した。早い段階で内々定を貰い、心の余裕ができた。しかし、就活中は、就活のために大学に通っているわけではないのに、と大学と就活の両立にずっと不安だった。
大学4年生	理系	国立	東京科学大学	男性	就職活動に対してやる気のある人が報われる仕組みになっていると思うので、問題ないと私は3月に大学院進学から切り替えて慌てて就職活動を始めたので大変でした。大学院試験に落ちてしまった人が9月からでも就職活動を安心して始められる仕組みがあればより良いと思います。
大学4年生	理系	私立	法政大学	男性	早期化したメリットは研究に集中できることだが、早すぎると話す内容がないまま就活を迎てしまうのが問題だと感じた。
大学4年生	理系	私立	同志社大学	女性	みんなルールを守っていない。早期選考がある所とない所がばらばらなので就職活動が長くなつて大変なだけ。早期選考自体はいいと思う。大学が就職活動をもっと理解すべき。授業が普通に欠席扱いになるものも多い。
大学4年生	理系	国立	東京大学	男性	就活による学業への悪影響や過度な負担をなくすべきだと考える。日本のアカデミアにおける競争力の低下を招くことで、将来的・長期的に考えると各企業や日本社会にとっても好ましくない。一方で、入社後のギャップをなくすための取り組みは積極的に行われていると感じ、こちらは評価できる。両者の両立が課題だが、難しい問題だと思う。
大学4年生	理系	国立	弘前大学	男性	日程の早期化は批判されることも多いが、私の場合は3年次春休みに就活が終了し、4年次の卒業研究に集中することができているので良いことだと思っている。ただし、この影響で公務員志望を諦めたので、公務員も民間大手並(3月から4月には内々定を出すスケジュール)に早期化するか選択肢が増えたことが望ましいと思っている。

2. 就活日程の在り方全般についての意見(Q84) ②抜粋コメント

Q84. 就活日程の在り方全般について、あなたの意見があれば教えてください。 (自由記述／任意回答)

学年	文理	国公私	大学	男女	コメント
大学院2年生	文系	国立	愛媛大学	女性	情報系の学生としてIT企業とコンサルティング企業を対象に就職活動を行いました。これらの企業は選考スピードが速く、インターンシップ参加者は年内内定が当たり前でした。会社としても適性を見た上で生を選べる利点はあるでしょうから、インターン直結の選考活動に対して不満はありません。ただ、現状のしくみでは卒業年度前の3月から就職活動がスタートすると真面目に考えている方に少し不利な状況が生まれていると思います。インターンシップ経由の選考を国としても認め、夏・冬インターンシップへの参加の重要性を広めていく必要があるのではないかでしょうか。採用プロセスの複線化についてはこのアンケートで初めて知りました。
大学院2年生	文系	国立	九州大学	女性	面接時期がばらせたため早期化がありがたい反面、修士に上がってすぐ就活授業研究が重なる心理的負担は大きかった。就活はイベントの参加などで選考の案内があるため今しかできない、早めに動かないとと思うと、研究がおざなりになっていき何のために進学したのかわからなくなってしまった。面接でも研究について聞かれたとき、結果→考察→次の行動みたいな就活映えするところまで進んでいなかったためもどかしかった。
大学院2年生	文系	国立	東京大学	男性	卒業に必要な最低限の単位取得以外の学業及び研究活動を控えなければ、就職活動における十分なアドバンテージが得られないを感じている。また、あまりに長期間行うため、もう少し短期間での実施をするべきである。早期化は問題と感じていない。
大学院2年生	文系	国立	九州大学	女性	学生の早く内定をもらいたいという気持ちと企業側の早く人材を確保したいという気持ちが合致していて、就活が早期化されていることはわかるが、もう少しゆっくり、インターンに参加できないとしても企業のことがわかるような説明会があるといいなと思う。
大学院2年生	理系	国立	東京科学大学	男性	早期化自体は悪くない。(早く終わらせて研究ができるので) 長期化しているのが嫌だ。
大学院2年生	理系	国立	東京大学	女性	はやいのは困りますが、私は修士1年の11月に始まり3ヶ月ほどで就活が終わって、修士2年に入ってからは研究に集中できている。早く終わるのであれば就活の早期化も悪くないと思った。
大学院2年生	理系	国立	熊本大学	女性	どんどん早期化する就活に対して、焦りや不安を感じていました。周りが就職先が決まっていく中で、自分はまだ迷っているという状況がありました。一方、そのような友人から就職活動についてアドバイスをもらえるという利点もありました。これ以上早める必要はないと思う。
大学院2年生	理系	国立	東京大学	女性	結局修士1年生の頃からスタートする企業があるのであれば、終わりの時期はもっと早くなってもいいのではないかと思うことはありました。ただ、終わりの時期がある程度遅いからこそ、オフ会等を抑止する効果もあるのかなとも思います。
大学院2年生	理系	国立	東京大学	男性	就職活動期間が短すぎると、自分の将来についてよく考える時間が少なくなってしまう。一方で、長すぎると、研究に支障がでたり、精神的なストレスも大きくなってしまう。
大学院2年生	理系	国立	東京科学大学	女性	就活をしていて、政府が決めた就活日程を真面目に守っている企業はほとんどないと感じた。ただ、正規のタイミングで就活を始めた人が不利にならない限り、それが悪いことだとは思わない。政府と企業と就活生の間で、共通認識が持てると良いと思った。
大学院2年生	理系	国立	東京科学大学	男性	学部生は3年間学業に励んでおり、その後4年目で研究を始める学生が多いと認識しているので、早くに(学部3年の秋～冬の期間のみ)就職活動が完了すると良いと感じたが、修士課程学生はそのスケジュールで就職活動を行うと学業が疎かになっている学生が多いと周囲を見て感じたので、学部卒と修士卒、博士課程卒(ジョブ型や通年採用が適切では?)とで就活スケジュールを分けるべきだと感じる。

2. 就活日程の在り方全般についての意見(Q84) ②抜粋コメント

Q84. 就活日程の在り方全般について、あなたの意見があれば教えてください。 (自由記述／任意回答)

学年	文理	国公私	大学	男女	コメント
大学4年生	文系	私立	奈良大学	女性	経団連が設定している期間どおりに採用活動を始める企業なんてほとんどなく、貴重な大学生活の半分以上を就職活動に費やす現在の就職活動のあり方に疑問を抱いている。また説明会や面接、インターンシップを理由に授業を休むことも多く、何のために大学に行っているのか分からなくなってしまった。企業側はカメラオフ推奨の説明会や対面ではなくオンラインでの面接など、あくまで学業を優先できるように配慮をして欲しい。また就職活動を通じて理不尽で不快な思いをすること多く、学生側には締切を厳守させるのに企業側は結果出す期限を守らず他社の選考スケジュールや学業へ大きな悪影響を及ぼした。
大学4年生	文系	私立	法政大学	男性	近年、インターンシップが選考に有利になるという情報から5日以上のインターンシップの競争率が高くなっています。実際に私も夏のインターンシップに応募しましたが5社全てから落選してしまい、早期選考の情報を十分に貰えなかったです。インターンシップはあくまで、仕事体験を通じて適職かどうかを見分けるのに、内々定の保険が欲しいがために参加している印象を受けました。なので、インターンシップの数を増やすか1dayの就業体験についても同職種において一定件数参加で同じような待遇を受けるなどの措置を講じて欲しいです。
大学4年生	文系	国立	千葉大学	女性	就活の早期化は大学での学びを妨げていると思う。取り締まらない限り止まらないと思う。ズルした企業勝ちになっている。
大学4年生	文系	国立	一橋大学	女性	基本的に企業中心的であり、学生側に負担が大きい。しかし、土日に開催されると入社後の休日出勤の要請される会社なのだろうかと企業への不信感にも繋がる。大企業でない限り候補日を増やす対応も難しいし、分散しすぎてほかの学生と交流する機会がなくなるのも残念である。大学在学中に就職活動の期間を設けるよりも、大学を卒業したあと1年間を就職活動期間としてくれたほうがありがたい。
大学4年生	文系	国立	一橋大学	男性	どんどん早期化し、大学が就活予備校化している。就活がゲーム化し、情報化しており、ちゃんと大学で学業を行っている学生が不利になっている状況が否めない。まあそんな学生を求める企業も大概だと思うが。のままでは日本の国力も停滞すると思われる。もっと通年採用を増やすべきだと思う。私は10月入社であるが。
大学4年生	文系	私立	同志社大学	女性	「採用を目的としない説明会」と称して、実際は説明会への参加やそこでの態度が採用選考に影響していると思った。そのような説明会が学部3年生の夏以降始まつたことで、学業より説明会への参加を優先することがしばしばあった。また友人から平日9:00-17:00のインターンが1週間続き、全く授業に出られなかったという話を聞いた。大学1年次からインターンシップに参加している知り合いもいる。「広報活動」やインターンシップも含めて修了予定年度の4月以降に開始などというような規制を設けない限り就職活動の早期化は酷くなり、採用される側という弱い立場にある大学生の学業や課外活動は就職活動にさらに圧迫されていくと思う。
大学4年生	文系	国立	東京大学	その他	大学教員が「就職活動を理由に公欠と見なすことはできない」等と連絡しているところを見たことがある。この発言は就職活動の日程と講義日程が被っている生徒が複数いることを示唆するものであり、学生、教員双方にとって不利益をもたらすものであると考える。企業にとっても平日以外に面接を行うことは難しいのであろうが、このギャップが解消されれば嬉しいと思う。
大学4年生	文系	私立	関西大学	女性	6月1日が本選考の開始とされているのに、1ヶ月くらいから選考がスタートする企業が多くあり、3月や4月の時点で募集を終了していて選考を受けられないということがあった。6月1日だと少し遅い気があるので3月1日からしかスタートしてはいけないなど企業すべてで統一して欲しい。挑戦する機会をすべての企業等しく設けて欲しい。
大学4年生	文系	私立	慶應義塾大学	女性	土日に入れてほしい。今はインターン経由じゃないと大手に内定するのが難しいのに、平日しかインターン日程は用意されてない。奨学金を受給して大学通っている人は、大学も休みたくないの、本当にやめてほしい。政府から企業にそのように伝えてあげてほしい。
大学4年生	文系	私立	中央大学	男性	多くの企業が大学3年生向けにインターンシップの案内をすると、就職活動の早期化がひどいです。このように早期化するなら、ルールは撤廃してください。周りに混乱している人がいます。あと、早期化するのは構いませんが、長期間はさせないであげてください。
大学4年生	文系	国立	東京大学	男性	「ルール」を実効的に運用するならば、業界の自主規制に委ねるのではなくて、法制化や罰則の導入等が必要である。
大学4年生	文系	私立	明治大学	男性	私は4年の時期から就職活動を始めたものの、それでも授業を欠席して出席日数が足りず、単位不認定になることがあった。ましてや3年の夏～冬からバリバリ就職活動をしているとまともに授業に出席できない、勉強そっちのけになっているのは、周囲の人を見ていて感じていた。選考の早期化、早期選考の早期化は明らかに学生生活を縛り付けているので、もっと開始自体を後ろ倒した方が良いと思う。
大学4年生	文系	私立	明治大学	女性	多くの学生は大学3年生の4月から説明会等に参加していました。企業側も早い段階で説明会を開き、優秀な学生を確保したいからであると聞きました。しかし、学業やアルバイト、ゼミと並行して就職活動をするのは時間的制約が厳しく、ほとんど自由時間がありませんでした。また4月からなるでまる一年もかけて就職活動を行わなければならず、精神的負担も大きかったです。政府として就職時期を定めても実際には守っていない企業ばかりなので、早くとも大学3年生の1月以降に就職活動を始められるようにできたら良いと思いました。
大学4年生	文系	私立	明治大学	女性	就活の早期化により就活自体の日程もだが、「ガクチカ」の早期化も迫られていることはニュースなどで報じられているのはあまり見ないがとても大きな負担になっている。また、オフハラがひどい会社が多すぎる。内々定を出す前にも「次の選考に進むには誠意を見せる対応を他の会社に対してしてください」と言われたり、「これはあくまで仮の内々定であって1週間以内に他に連絡をしなければ公式な内々定は出せません」と言われるなどする。内々定を得てからしっかり悩みたいが考える余地さえ与えられず、諦めることを迫られる。

2. 就活日程の在り方全般についての意見(Q84) ②抜粋コメント

Q84. 就活日程の在り方全般について、あなたの意見があれば教えてください。 (自由記述／任意回答)

学年	文理	国公私	大学	男女	コメント
大学4年生	文系	私立	愛知学院大学	男性	就職活動の早期化、長期化はどちらかのルールを設けるべきであると考えます。3年夏頃からほぼ1年間就職活動を続けましたが、その間に学業、就職活動、アルバイトの3つを両立しなければならないという多忙なスケジュールに翻弄されました。多くの時間が就職活動によって失われることはもちろんですが、交通費、食事、その他雑費など金銭的にも大きな負担が長い期間のしかもてきました。交通費が比較的かかる地方に住む学生や下宿生はさらに大きな負担を強いられることになっていると思います。このままでは就職活動の勝者は就職活動への意識や能力、ガクチカなどの経験の差ではなく、住む地域や経済的余裕の差がモノをいう就職活動になってしまうのではないか。改めて就職活動の早期化と長期化の問題の根本的原因にあるインターナシップなどのスケジュールについて考えて頂きたいと思います。
大学4年生	文系	私立	立教大学	女性	ほぼすべての企業で、採用活動解禁の時期は守られていないと感じました。就職サイトに登録するが、大学3年次の3月で、その年の夏のインターン参加後に早期選考を経て年内に内定という人が多かったのではないか、と活動を終えて感じました。通年採用や、既卒採用または第二新卒採用の緩和などが進めばいいなと思います。もちろん多くの企業が既卒採用を受け入れているとは思うのですが、実際に何人採用されたか不明な点もあり、既卒で内定を頂くのは厳しいと思います。そのため学業よりも卒業までの就職という考えが生まれてしまい、大学の勉強に集中するというのは難しいです。卒業までに就活を終えられる運びとなりましたが、個人の都合の良いタイミングで受けられる選考が下の年代で増えればいいなと思います。また、既卒となった人も新卒と同様に扱っていただけるように、採用実績に結びつくような広報をお願いします。
大学4年生	文系	私立	立教大学	女性	現状は他国とは少し違った就職活動のスケジュールだが、今後は少しずつ通年採用に切り替える企業も増えてくると思う。25.26卒は特に先輩から言われる「この時期が忙しい」という例年通りでは無かったからこそ、自分自身でいかに情報を得れるかが重要だったと思う。入社式内定式など伝統ある儀式が決定している以上変えていくのは難しいかもしれないが、就活が学業の妨げにならないような、有利不利等が動かないようなものになると良いと思う。
大学4年生	文系	私立	立教大学	女性	就職活動の実態としては早期化以上に長期化となっており、学生の本分を十分に発揮できていない状況。ガクチカといわれるものを実質大学2年生までに作っておかないと評価されないで、ルールを厳守させるようにするか、なにか対策をしたほうがいいと思う。
大学4年生	文系	公立	東京都立大学	男性	政府が就活日程を公式に定めているにもかかわらず、その日程を実質的に守っていない企業がほとんどである。就活日程を定めるのであれば、企業に対して厳守させることを徹底すべき。難しいのであれば、公式に決めるべきではない。最近では就活の早期化が顕著であり、早ければ学部2年次の冬ごろから行わなければならぬ。大学での学問が満足にできていない状態で、就活を行うことは学生が専門性を十分に身につけることができないにつながる。なんの目的で大学に行ったのかわからなくなることがあった。企業側は専門性をもった人材を求めているものの、学生は上記のような状態であるため、専門性をもった人材を雇用することが難しいのではないかと推察する。
大学4年生	文系	私立	南山大学	女性	選考の開始日などが定められていても、多くの企業が守っていないように感じる。それどころか、多くの就活ナビサイトやキャリア支援室から大学1.2年次から就活を意識した行動をするよう勧められることが多かった。内定式は10月で、入社は卒業後の4月であるのに大学2年次から就活を始めることが意味があるのか疑問に思う。学生に対しても企業に対しても早く動き始めるよう勧めている就活ナビサイトに対して、政府から働きかけをしてほしい。
大学4年生	文系	私立	立教大学	女性	就職活動の採用開始時期は遅く、情報収集できる時期をもと早くしてほしかったです。自身の行動不足もありますが、就職活動において圧倒的な情報不足が気になりました。昨今の就職活動は情報や知識、経験をどれだけ多く積めるかが肝になっています。また、採用開始時期に関してはほとんどの会社では早期選考と称して2月から始まっている企業もあります。海外のように卒業してから就職活動を始めるなどといった制度に変えてほしくないです。加えて、夏の暑い時期でのスーツはしんどいこともあります、かつジャケットの中は袖が見えるように白い長袖シャツを着なければならないというあまり納得のいかない風習もあることから、政府から企業側に対して服装制限の緩和、ひいては就職活動自体をもっとラフな雰囲気にすることを呼びかけてくれませんでしょうか。
大学4年生	文系	国立	お茶の水女子大学	女性	余りにも就職活動の早期化が進んでおり、学業に大きな支障が出ている。就活のために大学を欠席することが当たり前になっており、選考開始日を法律によって厳格化してほしい。自分は7月に就職活動を終えたばかりだが、既に27卒の内定が出ていることが信じられない。早期化のせいで、短期離職者が増え労働生産性の低下につながっていると思う。また、詐欺に近い求人を提示する企業や、早期化の不安をあおる人材系企業、ウェブテストの解答集を販売したりウェブテスト受験代行業者などが法律で取り締まられていないことも問題だと思う。求人詐欺を取り締まったり、早期化を過度に煽る広告を取り締まつてほしい。その後の人生に非常に大切な新卒の就活がこれほどまでにビジネス化され、就活生や採用に困っている企業を搾取する構造が出来上がっているため何とかしてほしい。
大学4年生	文系	私立	京都産業大学	女性	私は学業を最優先にしたため、参加したかったができなかったインターンが数多くありました。一方で大学では、インターンに参加しないと就活戦線に乗り遅れる、参加必須だというような案内がされており、矛盾していると感じます。現在の平日の日中に数多くの企業がインターンや説明会を行っており、かつ複数の企業でそれが採用に直結している現状は学生の半分である勉強を犠牲にすることに繋がっています。また先ほどの長期間のインターンシップについてどう思うかについてでも記述したが、現在の混乱を生んでいる形骸化した就活解禁日や広報解禁日、インターン参加者への公式に認められた優遇制度というものは無くした方がいいと強く考えます。私自身、学期期間中、授業と被って参加できなかった第二志望群の企業の1dayインターンが参加者限定で選考優遇を行なっていると聞いた時非常に悔しい思いをしました。特に、就活がどんどん早期化している中で、真っ当に授業を受けていればほとんど大学に行かなくて良くなる4年生ではなく、3年生の特點でしっかりと就職活動をしなければいけなくなった今、現状の学業を疎かにして就活をしなければいけないスタイルは間違っていると思います。
大学4年生	文系	私立	早稲田大学	女性	私は、3年生の4月から始めたが、あまりうまくいかず4年生の7月にやっと内定をいただきました。早期化はいいことだと思いますが、早く始めた人がもう少し早く結果を出せるような選考ルートを提供して欲しいです。

2. 就活日程の在り方全般についての意見(Q84) ②抜粋コメント

Q84. 就活日程の在り方全般について、あなたの意見があれば教えてください。 (自由記述／任意回答)

学年	文理	国公私	大学	男女	コメント
大学4年生	文系	私立	北海学園大学	女性	早期選考を中心にして受けたので、大学3年で学業に専念できる時間がとても限られており単位取得に苦労した。なるべく大きな企業に行きたいと思うと、都市部の学生ほど早く動く傾向があると感じてしまい3年春から動く必要があった。早く行動できる人から内定がもらいやくなるので早期化自体は悪いことではないと思う。ただ、規定通り大3の3月から始めるところ大手・優良企業の枠が限られている状況は改善するべきと考える。部活や留学に専念していた人や、公務員試験に落ちた人など、何かしら努力をしていた学生向けの秋選考を活発化すれば、早期化のムードは薄れるのではないか。
大学4年生	文系	私立	立教大学	女性	政府が採用ルールを設定しているにも関わらず、採用時期が早期化しており学業と両立させるのに苦労しました。一方で、一部の企業・官公庁では、決められた期間から日程を選択できる仕組み（例えば7/1～7/6の間から都合の良い日程を1日選択するなど）を導入しており、学業やその他活動と両立する上で非常に助かりました。採用する側の都合もあるとは思いますが、今後、このような仕組みが広まれば就活をする方々にとっても日程が組みやすくなると思います。
大学4年生	文系	私立	久留米大学	男性	定められたルールが形骸化しており、それにより、単純な就職活動だけでなく、その時期や方法など、構造自体への不安まで、抱くことになっているのが現状だと考えます。あくまでも、企業ごとに行うものであり、それを包括的なルールで縛ることは難しいことではありますが、ルールを提示するのであれば、それに相応の規範としての効力がなければ、意味がありません。他方、ルールが存在すること自体に意味があると思うので、これからも日程自体は、提示し続けていただきたいです
大学4年生	文系	私立	同志社大学	男性	早期化しすぎている。企業は良い学生を早く取りたい、学生は早く内定をもらって就職活動を終わらせたい、と考えている。これが早期化を助長し、悪循環を生み、早期に内定をもらったが故に就職活動を終えてしまい、納得内定に繋がらないなどの問題がある。より良い起業、より良い学生をお互いに見極めるためにも、内定に直結する就職活動自体はもう少し遅めのスタートで良いと思う。インターンシップ等は早期化で問題ない。
大学4年生	文系	私立	立命館大学	女性	就職活動について言及したいことは主に2点ある。1つ目は、早期化が激化している点である。周りの環境によって異なる可能性があるため一概には言えないが、私が26卒として活動していた時よりも、27卒の後輩たちは現段階から動き、早期化が加速している気がする。夏季・秋季インターンシップから出る、内々定枠の大幅な増加を少しばかり懸念しているところだ。2つ目は、「早期化」よりも「透明化」に力を入れるべきだと考える。説明会やインターンシップなど会社概要の情報開示は詳細まで為されているが、「就職活動」自体が不透明だと感じる場面が多くあった。過去のエントリーシートや面接に関する情報が少数であるため、対策がしづらい。中には、「自由に表現してほしい」との題目で絵を描いたり、動画を撮影したりしたが、内容が非常に抽象的で何が正解かわからなかった。それこそが企業の意図なのかもしれないが、学生が混乱しているのは事実である。具体的な指示と過去の参考例があれば、就職活動を始めたばかりの初心者でも、解像度が高い状態で取り組めるのではないか。
大学4年生	文系	国立	広島大学	男性	数百字のエントリーシートや数分の面接だけでは、その就活生の本当の能力や魅力を企業に伝えることはできず、いわゆる「就活テクニック」が重要視されているような感覚を多く覚えた。本人の熱い想いや性格など数値に表れない魅力がもっと重要視されるような仕組みになれば良いと思う。
大学4年生	文系	私立	立命館大学	男性	就活がどんどん早期化していると感じるので、わけのわからんベンチャーの激早採用とかは制限するべきやと思います。早くに内定が欲しいという気持ちに踊らされて、就職活動そのものが疎かになっている人が多く見受けられるように感じます。
大学4年生	文系	私立	福岡大学	女性	スーツが暑いので、春になる前に面接などの採用を始めてほしい。それに合わせて情報も早めに出てほしい。もしくは、全体的に涼しくなる頃に遅らせてほしい。
大学4年生	文系	国立	広島大学	男性	学業に影響が出にくいような土日や長期休暇に就活のイベントを行ってほしい。
大学4年生	文系	国立	千葉大学	女性	地方に住む方が東京等で面接を受ける際は、1日にできるだけ多くの企業を受けた方が経済的な負担が軽いと思うので、配慮があればいいと思った。あまりにもお金と時間をかけすぎると、お金をかけた分就職したいと考える気持ちが不用意に大きくなってしまう可能性もある。そのため、地元と都市部の就職負担が小さくなれば、地方での就職を選ぶ人も出てくるのではないかと考えた。
大学4年生	文系	国立	長崎大学	女性	それぞれのタイミングで就活ができる通年採用がいいと思う。企業側の負担は大きいかもしれないが、一時的な忙しさを回避することができるという利点がある。また、多様な経験を持つ人間を採用できるため、双方に良い流れだろう。
大学4年生	文系	国立	熊本大学	女性	教育実習と就活の面接の日程が重なった時、就活を理由に教育実習を休むことができないため、面接を諦めなければならないことがあります。受け入れ先の学校に負担をかけてしまつて、教育実習であることは重々承知なのですが、人生をかけた就活なので、教育実習の日程が就活時期と重ならないような配慮がなされていました。就活の日程のあり方を変えるというよりは、就活が就活生にとって最優先すべき事項に変わり、その他の学業が就活の日程に配慮するような世の中の風潮になるとよいと思いました。
大学4年生	文系	国立	愛媛大学	その他	就職活動の早期化は、卒業研究の開始時期や活動期間に大きく重なっており、十分な学習の妨げとなっている。また、大学においてまだ十分な授業を履修しておらず、能力の身についていない2、3年生のうちから就職活動を行うように誘導することは、企業、学生双方にとって良い結果をもたらさないと感じる。「4年前期に内定が出ていない」者を異端扱いし、焦りを増長させるようなシステムは、今一度見直すべきであると感じる。

2. 就活日程の在り方全般についての意見(Q84) ②抜粋コメント

Q84. 就活日程の在り方全般について、あなたの意見があれば教えてください。 (自由記述／任意回答)

学年	文理	国公私	大学	男女	コメント
大学4年生	文系	公立	東京都立大学	男性	就活開始の早期化については問題ないが、それならば就活終了についても早期化してほしい。現状のままではただの長期化であり、学生に負担を強いている。
大学4年生	文系	私立	関西学院大学	男性	早期化は罰則をもって規制すべき。ただ現時点での政府が出すスケジュールは早めても良いと考えている。厳罰化した上で政府が就活スケジュールを定めて、違反する企業は厳しい罰則(資本金の50%以上の罰金や1ヶ月以上の業務停止などを設けるべき)。
大学4年生	文系	私立	同志社大学	男性	そもそも在学期間中の進路決定にあまり賛成しません。高校卒業後、大学卒業後にそれぞれ進学や就職について考え動ける期間(ギャップイヤーのようなもの)が設けられていれば、進学先、就職先でのミスマッチが減ると考えます。また、就活日程に限らず、就活のルールや情報は格差無く全ての学生に届くよう告知すべきだと考えます。
大学4年生	文系	私立	関西学院大学	男性	早期化は罰則をもって規制すべき。ただ現時点での政府が出すスケジュールは早めても良いと考えている。厳罰化した上で政府が就活スケジュールを定めて、違反する企業は厳しい罰則(資本金の50%以上の罰金や1ヶ月以上の業務停止などを設けるべき)。
大学4年生	理系	国立	東京科学大学	男性	ルールを守っている企業と守っていない企業で日程に差がありすぎて、就活の期間が長くなってしまっているので、企業はルールを守るのを徹底すべきだと思う。
大学4年生	理系	国立	東北大学	女性	可能であれば長期休業中や授業時間外で選考などができると良い。しかし、土日の説明会などはその企業の方々が土日に出勤するということで、難しいなとは思う。学業等に支障が少なく、自分のキャリアについてしっかり考えられるような日程だうれしい
大学4年生	理系	国立	広島大学	女性	結局3年生のうちに就活を終える学生がほとんどなので、3月解禁はもうやめてもよいと思う。3月に出遅れたと感じて就活がしんどくなる同級生が多かった。いつ就活してもよいとなれば、プレッシャーを感じることもないのでは。
大学4年生	理系	国立	愛媛大学	女性	民間企業の就活の早期化を非常に進んでおり、民間企業と公務員を併願する場合、1年以上就職活動をすることになり非常に長いと感じた。国が定めている決まりの拘束力を強めれば就活期間の長期化を防げたり、卒業研究がある程度進めて自身の適正を判断してから就職活動ができると良いと感じた。就活の低学年化も今年あたりから特に進んでいるように感じるが、大学1~3年は大学での授業・研究、サークル活動など大学生でしかできないことを沢山経験して欲しいので、過度な採用活動には制限を設けて欲しいと考える。
大学4年生	理系	国立	熊本大学	男性	地方から就活を行った身としては、情報格差が1番に痛手だった。まず友人の多くは、学部卒の人は公務員を、院進する人はそもそも就職活動に無知であり、どうしても企業就職においてはスタート段階で取り返しのつかない遅れをとってしまっていた。また、3年になってすぐの就職支援課のガイダンスで、部活動生は夏に無理に就職活動をする必要は無く、冬から本腰を入れればよいという話を聞き、それを鵜呑みにしてしまったが、それが大きな命取りであったように感じている。結論としては、満足のいく就活をするためには夏インターン締め切りである6月下旬前には始めるべきだというのを、もっと知らせて欲しい。
大学院2年生	文系	国立	東京科学大学	男性	特に4月から6月にかけては、修士論文の研究計画を本格的に立てる大切な時期と重なっていました。そんな中で、いつどの企業のエントリーシートが通って、いつ面接があるか分からぬいのは、本当に大変でした。その不確実性が高い時期は、精神的な負担が非常に大きかったです。バイトを入れるのも難しく、友人との予定も立てにくかったため、想像以上にストレスが溜りました。人との交流が減り、お金もなく、家に閉じこもりがちになっていました。企業によっては大まかなスケジュールを教えてくれることはあっても、とりあえずESを出したらそれ以降の予定は空けておいてくださいとなると、学生にとってはかなり厳しいものがありました。就職活動の不透明なスケジュールは、不安を生むしバフォーマンスを下げる要因にもなっていると思います。学生が安心して学業や研究に打ち込みながら、自分のペースで就職活動を進められるような環境がもっと整えば良いのですが、現状はまだ多くの課題を抱えていると感じます。
大学院2年生	文系	国立	東北大学	女性	大学院生が(特に)民間企業へ就職しようとする場合、修士1年の春頃からインターンシップに向けた活動をしなければならず、研究がまとまらないのでは本末転倒だと思う。学生は企業の採用スケジュールに合わせるしかないと思うので、就職活動の早期化・長期化を政府や企業側で止める必要がある。
大学院2年生	文系	国立	京都大学	男性	就活日程ルールが守られているように感じない。企業の優秀な学生を早く囲い込みたい思いと、学生の早く進路を決めたい思いが合致して、どんどん早期化が進んでいるように感じる。一方で、学生生活の早いうちから将来のことについて考えられている人は多くなく、大学生活前半で多様な経験を積んだり専門的な学習をしたりした後で就職先について考えたいという学生は、就活早期化の雰囲気に巻き込まれて不適に焦燥感を覚えさせられている。豊かな学びとゆとりのある学生生活を保障するためにも、企業は就活日程ルールの遵守とともに、休学・留学などでストレート卒業できなかった学生が就職活動で不利な扱いを受けないようにするべき。
大学院2年生	文系	私立	立教大学	女性	卒業後に就職活動ができるような社会の変革を求めます。現状の就職活動の形態では、研究に集中することが全くできません。修士論文を提出後に就職活動を開始するような形態が望ましいです。アメリカ等では、大学卒業後に就職活動を開始すると聞きます。そのような社会、また新卒にこだわらない就職活動へと社会全体が変わっていくべきだと考えます。
大学院2年生	文系	私立	明治大学	男性	就職活動が、大学3年の夏と、早く始まるので、学業よりも優先してしまう学生が多いように感じます。ある企業が先行して採用活動を行うと、他の企業も優秀な学生を取られまいと追随する形となってしまうので、採用活動を早く始めすぎる企業にはペナルティを与えた方が良いと思います。

2. 就活日程の在り方全般についての意見(Q84) ②抜粋コメント

Q84. 就活日程の在り方全般について、あなたの意見があれば教えてください。 (自由記述／任意回答)

学年	文理	国公私	大学	男女	コメント
大学院2年生	文系	国立	東京大学	女性	新卒採用を中心とした現行の採用制度を見直してほしい。休学や留学、あるいは卒業後等、いわば履歴書に「穴のある」学生に対する配慮が現行の採用制度ではありません、精神的・肉体的に負担を感じた。経験に空白があることを良しとしない現在の風潮がある限り、研究面でも学外活動においても、新しく革新的なことに取り組もうとする学生の意欲の芽が摘まれてしまうのではないかと思う。
大学院2年生	理系	私立	同志社大学	男性	修士課程学生です。修士での就職を考えた際、実質的な就活は、M1夏のインターン専攻、つまりM1の6月からスタートしたという実感があります。修士に入学してわずか2か月後には就活スタートです。このようなスケジュール感では、到底研究活動に集中できるわけではありません。学生の本分は研究と勉強であるはずなのに、まるで就活をするために修士課程に入学したのではないかという錯覚さえ感じます。就活スケジュールを後ろ倒しにしてください、これは、私の周りの数多くの修士課程学生が思っていることです。
大学院2年生	理系	国立	広島大学	男性	近年、企業は早期に優秀な人材を確保したいあまり、採用活動が早期化しており、学生たちの勉強を妨げていると思う。また、それに伴い学生たちの意識も変化し、大学を就職活動でアピールすることの材料集めの場と勘違いしている者も増えたように思う。2018年に経団連は就活ルールを廃止し、以降政府が主導する形となっている。今一度採用選考活動の開始時期についてのルールを設け、学生たちが就活によって勉強の時間をつぶされるようなことがないようにして欲しい。
大学院2年生	理系	私立	中央大学	男性	実際の就活解禁と学生に求められる動きのタイミングが違います。建前のない制度が良いと感じた
大学院2年生	理系	国立	九州大学	男性	就職活動の早期化・長期化が顕著になってきていることを懸念している。就職活動に関して企業が行える活動開始時期が定まっているにもかかわらず、それを守っている会社が少なすぎて学生側はそれに合わせて動き出すことを余儀なくされている。実質ルールがないと同じである。ルールを定めているなら、守っていない企業にはペナルティ等のことをしてほしい。日本発展のためには大学における研究が不可欠であるが、研究を行うはずの修士課程はほとんど就職活動に時間を充てる必要があり、研究をまとめて行えない。将来の日本のためにも、就活の早期化・長期化の流れは即刻止めるべきである。
大学院2年生	理系	国立	京都大学	男性	長期化している。一部の企業で早期化（2024年春）が起り、一部の企業は従来通りの時期（2025年春）に行っており、それら両方の選考を受ける場合長期化する。特に外資企業は早期化が進んでいる。外資企業は給与などの待遇がよく、採用人数も多く、up or outの風土もそこまで感じないため、多くの人が選考を受ける。現状、国内大手企業の多くは外資企業と優秀な学生人材を取り合っており、選考も外資に合わせてきているように感じる（選考日程や給与）。政府もそれを配慮すべきだと考える。
大学院2年生	理系	国立	東北大学	女性	ルールとして制定されている就活日程と実態ははるかに乖離していると感じる。異常な早期化（学部卒の場合2年時から就職活動を行う等）は学業への影響が大きいため取り締まつほしい。また修士は2年しかないこともあって、学業生活に占める就職活動の割合が高くなってしまうため、あまり早期化しないように配慮してほしい。
大学院2年生	理系	公立	東京都立大学	男性	最近、優秀な人材を囲い込むと本選考の面接時期が早まっていることに反対で、卒業年度の直前の3月以前に本選考の採用面接を行う企業がないようにしてほしいです。理由は以下の3点です。1点目は、就活時期が早まれば早まるほど、社会経験に乏しく自己理解ができていない学生を多く採用することになってしまい、企業とのミスマッチが起きて学生が将来苦しむことになるためです。2点目は、就活のため課外活動や学業に取り組む時間が減り、十分に社会経験を積まないまま社会人になる人が増えることで、社会全体として従業員の質の低下し、国全体の衰退につながるためです。3点目は、公務員と民間企業の内々定が出る時期が違います、民間企業の内々定を一度承諾してから内々定辞退をせざるを得なかつたり、内々定の承諾保留がでかず、公務員試験に落選した際の滑り止めがない状況で公務員試験を受けるケースが多くあるためです。1、2点目の理由も踏まえ、民間企業の内々定時期を公務員の内々定時期と揃えてほしいです。
大学院2年生	理系	私立	明治大学	男性	民間と公務員の採用日程が大きく乖離しており、両方の採用にエントリーした場合就職活動期間が長くなるので、この乖離は埋める必要があると思う。
大学院2年生	理系	国立	千葉大学	男性	就職活動の早期化に伴って、（特に出身学部を問わない募集では）卒論等に力を入れるほど就職に不利になってしまい、対策が必要だと感じる。私の知っている範囲でも、内定はあるが卒業要件がギリギリであるためにゼミメンバーに迷惑を掛ける人や、就職活動ばかり行っていたために明らかに周囲に比べカリティの低い卒業論文を発表する人がいた。現在の就職活動のかたちでは、企業の都合ばかりが優先され、学生の都合や大学の機能が疎かにされていると思う（学生側に「早く進路を決定したい」というニーズがあると聞いたこともあるが、これも企業が採用活動の早期化を進めていることが原因だと思う。）。このような現状に対し、企業側の採用活動の日程を遅らせたり、大学側で就職活動の解禁に関するルールを定めた方が良いと考えている。
大学院2年生	理系	私立	立命館大学	男性	研究室の教授が就職活動に対してマイナスなイメージを持っている方が多く、就職活動によるゼミの欠席を許してくれなかった。そのためゼミを仮病で欠席するなどをしていた。学校の先生にも現在の就職活動の早期化を知ってもらう機会を作っていただきたい。
大学院2年生	理系	国立	東京大学	男性	就活日程は早ければ良い、遅ければ良い、などという問題ではなく、長期化しないことが何よりも重要であると思う。そのためには一定程度（早期に内定を得れる程度）に優秀な生徒にとっては日程が早いほうが内定先決定後に学業等に集中できる一方、その他の生徒にとっては日程が遅いほうが長期化のリスクが少なくメリットが多いように感じる。ただ、実際には就活日程に法的拘束力及びその実効性がない以上、規定の日程にかかわらず早期化は避けられないものであるため、日程を遅くするよう要求されることはどの立場から見てもあまり良い施策とは考えていない。

2. 就活日程の在り方全般についての意見(Q84) ②抜粋コメント

Q84. 就活日程の在り方全般について、あなたの意見があれば教えてください。 (自由記述／任意回答)

学年	文理	国公私	大学	男女	コメント
大学4年生	文系	国立	小樽商科大学	女性	早期化しすぎて、学業や部活に専念できなかったり、3年生での取り組みをエントリーシートや面接で話せなかったりするので、早すぎるのもよくないと思う。
大学4年生	文系	国立	鹿児島大学	女性	学業に専念できない日程で設定されることが多い。大学側も企業側も配慮がないことが多く、学生はどちらかを犠牲にするしかない。
大学4年生	文系	私立	東洋大学	男性	3年生～4年生にかけて生活の殆どが就活の為の生活になっていた。部活動や、卒業論文などを捨てて就活に取り組む事になった。大学で何もやっていない人ほど早期に就活を終わらせていたように感じる。そこが不公平だと感じた。
大学4年生	文系	私立	同志社大学	女性	早期化が進みすぎていると思う。大学の授業への出席が二の次になっていると感じる。周囲の人人が早くから内定を持っており、焦る。売り手市場であることも要因としてあるとは思うが、転職することを前提として内定先に就職しようとしている人が多く、企業にとてもそれは良いことではないのではないかと思う。
大学4年生	文系	私立	上智大学	女性	就職活動の日程について、ルールを定める必要があるのかわからないほど、ほとんどの企業がこれを守っていないと感じます。早い人は大学一年生のときから、「就職活動を見据えて」課外活動を実施しています。「ガクチカ」をつくることが大学生活で大事なことになっているように思います。就職活動において、大学の成績がほとんど重視されていないこともあります、「大学で学ぶことよりも就職活動に役立ちそうな課外活動をしたほうがいい」という価値観が広がっていることをとても不快に感じます。現実として、1年以上就職活動をしないといけない状況はストレスもともかかりますし、休学して取り組まないとしてもやむを得ない対応だと思います。
大学4年生	文系	私立	東北学院大学	女性	早期化早期化と言われる世の中、大学にはや行く意味が無くなっているような気がするのと共に、都会と地方で温度差を感じられた。そして、インターンシップに行くのに大学を休んでしまったりとか歯がゆい思いをしました。
大学4年生	文系	私立	同志社大学	女性	就活日程全般において、ルールが守られていないと感じる。採用活動が許可されるはずの6月には既に募集を終了している企業が多かった。人材を囲い込みたい企業の動きのせいで、大学3年生という本来学業に打ち込むべき時期に毎日就職活動をしなければならない状況が生まれている。採用活動やインターンシップの多くが平日に行われ、授業やゼミを欠席したり研究の時間を奪われることも問題だ。
大学4年生	文系	国立	岡山大学	男性	綺麗事ばかり並べていると感じるため、信じた人は馬鹿を見るようなシステムになっていると思う。結局早期選考を行う企業が多く、本選考と呼ばれる選考はもはや早期選考の穴埋めの補欠要因のようを感じた。
大学4年生	文系	国立	東京大学	男性	インターンシップの参加や職員訪問の回数が採用に影響をあたえる現在の仕組みについて、学生としては甚だ疑問を覚える。企業から見てその人物が相応しいかどうか判断するためにはそのような早い段階の選考の方が都合が良いのは理解できるが、そもそも学生の本分である学業を疎かにさせてまで参加頻度を重視することは理解できない。ましてや官公庁でそのような選考を行うというのは、文系学生の質が悪くなつて当然であるのではないか。
大学4年生	文系	国立	東北大学	女性	学生の本分は学問であり、就活によって犠牲にしなくなつたため、参加を避けいたら、世の流れに置いていかれた。本分を犠牲にするのはいかがかと思う。これまで、空気を読むこと、個性を伸ばすことが重要視されるようになった過渡期の学校で生活していた世代であるが、就活始まった途端に、自己分析で、今まででこななかった自分が何者であるかを考えることを求められ、ジャッジされ続けるのは、精神衛生上良くない。世の中を批判的に見る人はほど、就活に置いていかれ、企業からも扱いづらい認定受けやすいのではないかと感じる
大学4年生	文系	国立	一橋大学	男性	企業が各々の判断に基づいて好き勝手に選考を行っているように感じ、学業など活動に熱心に取り組む学生ほど就活が不利になるような印象を抱きました
大学4年生	文系	国立	広島大学	女性	地域によって就職活動の開始時期が大きく異なるのを感じました。都市部では早期選考が多く行われているが、地方は3/1～の採用活用が多いと感じました。そのため、地方に就職することを考えている学生は早めの段階から頑張って就職活動をしても報われないと肌で感じました。
大学4年生	文系	国立	東北大学	女性	国家公務員の官庁訪問が平日かつ都内でのみ行われるのは地方大学に通う学生にとってかなりの負担である。
大学4年生	文系	私立	明治大学	女性	大学3年時に留学に行っており、時差の関係でインターンなどに参加できなかつたのにも関わらず、配慮してくれる企業はなかった。3月に就活解禁なのに、それを守っている企業もほんなく、留学先でたくさん学んできたような真面目な学生のチャンスが減るのが理解し難かった。
大学4年生	文系	私立	明治大学	女性	長期化がひどすぎます。学業が本分であるにもかかわらず、学部3年の5月前後から就活を始め、学部4年の4月まで約1年間就活を続けました。本来授業があるはずの平日にある空きコマなどに企業が平気で説明会をしたりするのはおかしいと思います。文系学生でも3年の中に前期は授業が隙間なく入っている学生もいます。土日ならまだしも、平日にしかも屋間に説明会をしている企業も数多くあり、本当にしっかり勉強している学生を取りたいのか疑問に思います。
大学4年生	文系	国立	大阪大学	女性	大学時代は学業に専念すべき、というのが個人的な意見です。多くの学生は3回生からゼミや研究室配属が始まり、ようやく学問を本格的に始められる時期なのに、その時期は企業の採用活動（主にインターン応募）が始まつて、学業に専念できるような状況ではありません。大学が就職のために学歴を買うようなシステムはおかしいのではないかでしょうか。

2. 就活日程の在り方全般についての意見(Q84) ②抜粋コメント

Q84. 就活日程の在り方全般について、あなたの意見があれば教えてください。 (自由記述／任意回答)

学年	文理	国公私	大学	男女	コメント
大学4年生	文系	私立	立教大学	女性	早期化により、内定を出すタイミングが早まることで終わってない人へのフォローが少ないことで苦しんでいる人が多くいました。私自身も焦りから、とにかく早く内定を取らねばと思つてしまい、本来の目的であるキャリアの摸索や新たな発見といった方向で就活を行えるようになるにとても時間がかかりました。また、早期化した分早く終わるのではなくみんなが長く続けていることが多い年以上続ける人が大半でした。(初めて説明会などに参加してから)
大学4年生	文系	私立	立教大学	女性	就職活動が毎年早期化し、大学内での取り組みや課外活動が「就活のため」といった名目で行われることが多くなった。大学生活の半分近くを就活に費やす人も多く、高い学費を払って大学に行く意味が見いだせない。
大学4年生	文系	私立	立命館大学	男性	大学が就活予備校化していることに疑問を持つ。そもそも大学は国家の最高学府であり、その最高学府で学ぶ4年間のうち、多い人では約2年も削って就職活動をすることを暗に企業や社会から求められている理由がわからない。また、企業側や就職サイト側のタイミングなどで学生に電話をかけてきたり、採用活動のプロセス自体が国や政府などの公的機関の監督や干渉もないままビジネス化しているという点が甚だ疑問であった。社会のことを知らない学生が自分自身がどのように生きていくのかということを模索する間もなく、早いもの順で選考参加を募る企業に対しては非常に不信感を抱いた。
大学4年生	文系	私立	関西大学	女性	大学3年生というまだ単位が残っている中での就活で授業を休まずに就職活動をしろは無理です。眞面目に授業に参加してたら就職チャンスを逃しまくっていた。しかし、土日開催されたとしてもその企業はブラックなのかと感じてしまい、どっちもどっちである。
大学4年生	文系	私立	早稲田大学	女性	早期化しすぎており、大学3年はサークル活動に力を注ぎたかったにも関わらず、就職活動により力を注ぎきれなかった部分があります。また、就職活動を考慮し、自分が本当に履修したい授業よりも、楽単や出席が考慮されない授業、オンデマンド授業を優先させてしまったのも少し心残りです。
大学4年生	理系	国立	広島大学	女性	なんでもうやく忙しい教養科目が終わってガクチラを作る余裕が出来たタイミングで就活なのだからない。そもそも新卒一括採用の利点が分からず。
大学4年生	理系	私立	早稲田大学	女性	早期化が進むにつれて長期化してしまい、学生にとってあまりいい状態とは言えない気がする。採用選考に関しては6/1からとか全部統一してほしかった。早期選考とか、知ってるか知らないかの違いがすごく影響してしまっている。難しい。
大学4年生	理系	公立	東京都立大学	男性	変に政府が形骸化されたルールを残しているせいで混乱している就活生が一定数いると思う。
大学院2年生	文系	国立	岡山大学	男性	新卒カードと俗に言われる新卒が過度に重要視される昨今の状況は学生にとって負担になっている。早期内定も行うべきではない
大学院2年生	文系	私立	早稲田大学	男性	日程が全体的に遅過ぎる。学生は早く就活を終えて楽になりたいのに、政府や経団連は余計な介入をして学生を苦しめているように感じる。B3、M1にはまだ専門性などないので、この時期に一気に就活を終わらせて、B4、M2で研究に専念できた方が合理的である。就活の時期が遅いと、ギリギリまで自分の進路が決まらない不安と、研究との両立が必要で本当に苦しい。就活には明確な終わりがあるが、研究はそうでないことはもう周知されるべきである。
大学院2年生	文系	国立	東北大学	男性	院試が終わった瞬間から(学外のエージェントの)説明会等に誘われ、気持ち的には1年半くらい就活していた。研究室で研究を進めることもディスカッションすることもままならず、就活そのものが日本の研究力低下の原因の一つだと強く感じた。
大学院2年生	理系	国立	東京科学大学	女性	出来れば2-3日以内の就活体験でないと、理系の院生の研究活動を犠牲にしてしまうことや、いろんな企業を見れないため、2週間以上の日程は参加するのが難しい。
大学院2年生	理系	国立	東北大学	男性	ルールはあれど、企業側が全く守っていないのが現実。そのルール違反を取り締まる制度作りが難解なのは理解するが、それが無ければ、より良い就活日程の在り方の検討など意味がないように感じる。
大学院2年生	理系	公立	大阪公立大学	男性	就職活動が長期化しており、売り手市場の中ではあるが学生の負担はますます高まっているように感じる。学生は自分自身を見つめなおすことがまらないまま就職活動に巻き込まれ、その結果内定を得ることが目的化し、自分自身の目的を見失いがちであると考える。その結果が、3年以内離職率3割という数値に表されているのではないだろうか。
大学院2年生	理系	国立	東京大学	男性	就活解禁などのルールは設定・周知されているものの、すべての企業に遵守が求められているわけではない。また、遵守が求められている企業も、正直者では人材確保が困難になっていると理解しており、様々な手段を講じて早期の実質的な採用活動を行っている。学生の本分は遊ぶことと学習することであり、ガクチラを量産することではないはずであると信じている。僭越ながら、日程をルールで定めるだけは学生の不健全な負担の解消は難しいと考える。
大学院2年生	理系	国立	九州大学	男性	就活は早期化し過ぎだと感じる。私個人は先輩や友人のおかげもあり、就活の早期化で有利な側に立つことが出来て満足しているが、マクロな視点に立つと、学業不振の原因になったり、アルバイトせざとも済む裕福な家庭が有利になったりなど、格差社会を助長するのではないかと懸念する。
大学院2年生	理系	国立	東京科学大学	男性	あまりにも就職活動が早期化しすぎてしまっていて、学生は研究ができないし、会社は研究が出来ない学生を新入社員として選ばなければならない。特にメーカーの採用や就職希望者にとってどちらも不利でしかない。

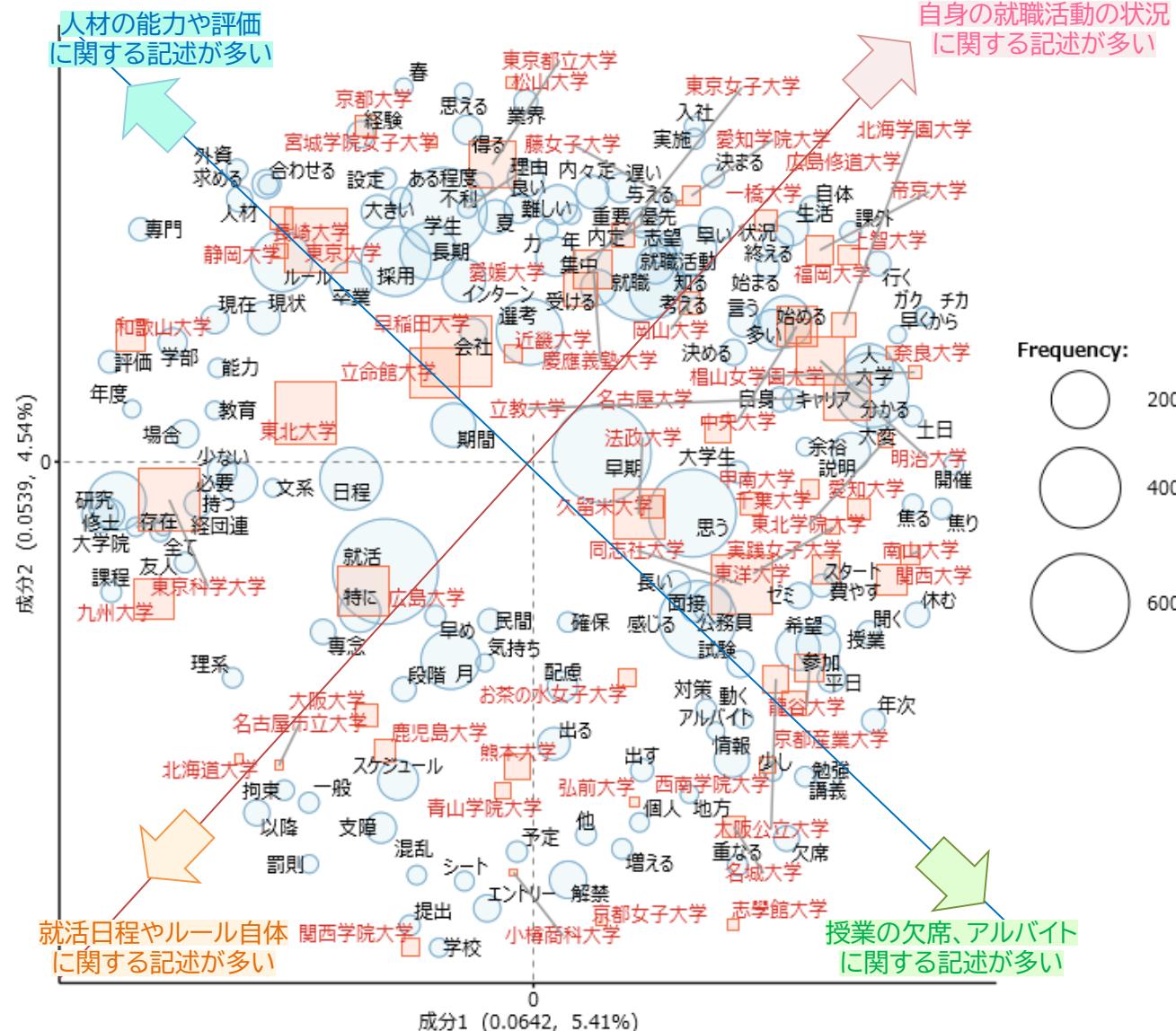
2. 就活日程の在り方全般についての意見(Q84) ②抜粋コメント

Q84. 就活日程の在り方全般について、あなたの意見があれば教えてください。 (自由記述／任意回答)

学年	文理	国公私	大学	男女	コメント
大学4年生	文系	私立	愛知大学	女性	就活の早期化じゃなくて長期化しているだけに感じる。
大学4年生	文系	私立	北海学園大学	男性	企業の性格を見るためにも就活日程の在り方について特に意見はないです。強いていのうであれば、企業全体で統一された方が企業選びに困ると思います。
大学4年生	文系	私立	早稲田大学	男性	就活開始日程が企業ごとに異なると、学生において各自が能動的に情報をとりにいき、主体的に意思決定をすることが求められると思います。自分の将来を考え、主体的に学習を進めてきた人や、主体的な意思決定が身についた学生は自由裁量の中でイキイキと就活ができると思います。一方で、与えられた情報を吸収してただけで主体性のない学生は、就活偏差値ランキングなども参考にしながら、他の就活生の状況と比較して焦りを感じながら苦しい期間が続くと思います。自我を獲得した人はうまく順応し、そうでない人は周囲との比較の中で、情報の波にさらわれる、そんな状態が続くのだろうと思います。ヨーデンで同じ状況で、同じ情報のもとで競争がされるよりも、不公平な状況の中で情報を取捨選択しながら、コミュニケーションを形成しながら就活を進められる、そんな人がこうした就活日程を乗り越えられるのだと思いました。日本社会に求められているのもこうした人だと思うので、そのための教育がなされれば、自ずと早期化、多様化が進むべきなのだろうと、思いました。
大学4年生	文系	私立	早稲田大学	男性	業種により就活日程は異なるので、一元化した規定はかえって混乱を招くと考える。
大学4年生	文系	私立	早稲田大学	男性	そもそも現在蔓延っている採用活動のルール自体形骸化しているので、早期化しているのであれば、その認識を社会全体に広めるのが賢明である。
大学4年生	文系	私立	立教大学	女性	就職活動の早期化はオワカラを誘発している。
大学4年生	文系	私立	立教大学	女性	インターンシップの応募は、5月頃に非常に多く、就職活動を1年前から始めていたと感じています。また、早期に始めてインターンシップ経由で内々定をいただいた企業は早い段階で内々定を辞退していたので、早期に選考活動を行うメリットは、企業側も就活生側もあまりないのではと感じました。
大学4年生	文系	私立	立教大学	女性	前項にもあったが、広報活動(3/1)や採用(6/1)の日程が決められているが、それを守っている企業をあまり見たことがなく、とても少ない印象。この決められた時期に合っていた企業は、業界全体の採用時期が遅い業界であって、決められた時期を守るためではないと思う。
大学4年生	文系	私立	法政大学	女性	いつ何の選考を受けるかは個々人で調節する必要がある。就活エージェントはたくさんの企業を受けさせようとしてくるのでスケジュールが圧迫しやすい。自分は途中で選考辞退して持ち駒を減らして調節した。
大学4年生	文系	私立	同志社大学	女性	7月頃になるとスーツのジャケットが暑いので、企業側からクールビズの呼びかけをすること（ジャケット不要など）が大切だと思った。
大学4年生	文系	私立	帝京大学	女性	就活が早期化していると言われているが、早く始まったからといって早く終わる人は少ない。長期化していて、みんな疲れているように見える。また、多くの企業が3年生向けの選考直結インターンシップを実施しており、就活開始時期も人によってバラバラ。自己管理能力が試されると思う。
大学4年生	文系	私立	明治大学	男性	大学側の配慮が欲しい。大学時代に力を入れたことを聞いてきたり、面接の日程を昼間に入れる企業は仕方がないと考える。大学はもはや就職のための場所になっているので、就職活動へよ最大限の配慮が欲しい。
大学4年生	理系	公立	東京都立大学	男性	実態として、就活日程についてルールを守っている企業ほど損をする仕組みなのではないか
大学院2年生	文系	私立	早稲田大学	男性	就職日程のあり方について思うことが2つある。1つ目は、過度に早期化していることである。就職活動の早期化によって低学年の大学生（1～2年生）が学業や他の学生との交流・協働活動が不足したまま、就職活動を行なっており、企業が何を基準もしくは根拠にしてその学生を見ているのか分からないと感じる。例えば、多くの企業で学生時代どのように取り組んだか、どのような経験があったかを問うが、大学生になりたての学生に上記の質問を聞いて何を判断したいのか理解し難い。2つ目は、内定前と内定後の学生と企業の関係性である。内定前においては、圧倒的に企業の力が強く、学生の力が弱い。すなわち、学生側は企業が求める人物像に自分を当てはめてこれまでの自分の活動や経験を照らし合わせて、ESや面接で該当する人物だと訴える。一方で、内定後においては学生の力が強く、企業の力が弱い。複数の内定をもらった学生からすれば、どの企業が自分にとって適切な企業を選ぶことができる状態になるが、企業からすると内定を出した学生にきちんと承諾してもらい、入社してもらうことが目標となる。そのため、定期的に連絡を取り、入社前から関係性を作ろうと必死になる。すなわち、内定後に突然、学生が選ぶ側の立場に立つのである。個人的にこの力関係の変化は非常に不自然な気がする。
大学院2年生	理系	私立	明治大学	女性	全体が焦りもあるのか、就職軸や目的が曖昧なまま、就職活動を終えてしまい、就職後のモチベーションや適職だったのかわからず、転職する、貟のループが多くなるのではないか
大学院2年生	理系	私立	帝京大学	男性	企業側の努力や工夫も大切だと思うが、それ以上に、学生側がしっかりとした意思をもって、就活をするべきだと考える。就活が始まってから将来を考えるのではなく、もっと学生側がしっかりとと考え、企業側にある程度負担がかかるないように配慮するべきである。
大学院2年生	理系	国立	東京科学大学	男性	業界ごとに開始時期がバラバラなので、多くの業界を検討したすると、結果的に時期が長引いてしまう。

2. 就活日程の在り方全般についての意見(Q84) ③大学別の傾向

Q84. 就活日程の在り方全般について、あなたの意見があれば教えてください。（自由記述）



読み取り

各大学のnや文系理系比率、学年の比率が異なるので一概には言えないが、大学ごとにQ84の自由記述の内容を見ると、

「人材の能力や評価に関する記述が多い」
 ⇔「授業の欠席、アルバイトに関する記述が多い」軸と、

「就活日程やルール自体に関する記述が多い」
 ⇔「自身の就職活動の状況に関する記述が多い」軸

といった傾向が見られた。

※分析対象：1,036件（回答は任意）

※バブルの大きさ：出現回数

※語の最低出現回数：15回 上位150語